

## 「新たな年を迎え 海部地域の農業の発展に向け」



新年明けましておめでとうございます。旧年中は、農業者の皆様を始め関係機関、団体の方々には、農業改良普及課の業務に対しまして格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、去年は、資材等の高騰や夏季の異常な高温など、農家経営には厳しい状況があったと存じます。また、生産性の向上や担い手の高齢化、後継者不足への対応は引き続き農業・農村の課題となっています。一方、国では「みどりの食料システム戦略」がすすめられるとともに、「食料・農業・農村基本法」の見直しが議論されるなど、大きな転換点を迎えています。

そうした状況のなか、農業改良普及課では、普及指導基本計画に基づき、スマート農業等新技术の導入や既存技術の見直しによる技術改善と地域における担い手の確保・育成を両輪として、皆様方と連携しながら活動を進め、海部地域の農業の発展に尽力していく所存でございます。

本年も一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

海部農林水産事務所農業改良普及課 課長 日比野好晃

## 水稲新品種「愛知 135 号」が県奨励品種に採用されました！

愛知県農業総合試験場と JA あいち経済連が共同開発した水稲新品種「愛知 135 号」(2020 年 3 月品種登録出願 (2020 年 3 月 27 日発表済み)) が 9 月 22 日付けで県の奨励品種として採用されました。「愛知 135 号」は、農産物検査法に係る農産物規格規程に基づき、「あいちのこころ」という産地品種銘柄名で検査・流通されます。2025 年度から生産者へ向けた種子の供給が開始される予定です。

「愛知 135 号」の特徴は以下のとおりです。

- ①夏の暑さに強く、高温による品質低下が生じにくい。
- ②「あいちのかおり SBL」より約 10 日早く出穂し、作期分散による作業時間の平準化が期待できる。
- ③大粒で、精米時の歩留まりが優れるため、業務用米としての利用にも適する。

また、現行の奨励品種「あさひの夢」及び「ゆめまつり」は奨励品種から廃止されます。「あさひの夢」、「ゆめまつり」から「愛知 135 号」への置き換えを進めていくことにより、県内の作付面積は 2025 年に約 1,000ha、2028 年には約 2,500ha を見込んでいます。



成熟期の愛知 135 号

## 新たに農業経営士、農村生活アドバイザー、青年農業士になられた皆様

令和5年11月22日(水)の認定式において、新たに7名が愛知県知事から認定されました(敬称略)。今後の御活躍を御期待申し上げます。

### 農業経営士

### 農村生活アドバイザー



石原招士(愛西市)  
消費者に喜ばれる高品質な鶏卵生産の実現に向け精進します。



中野悦宏(愛西市)  
農業経営士として地域農業の発展と後継者育成に精進します。



加藤 誠(愛西市)  
農業の楽しさを農業経営士として次世代に伝える活動をします。



伊藤真奈美(弥富市)  
知識や経験を学び、地域農業を盛り上げていきたいと思っています。

### 青年農業士



服部裕紀(愛西市)  
青年農業士の活動を通して、地域の花き栽培を盛り上げます。



矢野翔大(愛西市)  
青年農業士の活動を通して、地域のレンコン栽培を盛り上げます。



大西貴也(蟹江町)  
皆さんとしっかり交流できるように頑張ります。

## 「みどり認定」について

「環境と調和のとれた食料システムの確立のための環境負荷低減事業活動の促進等に関する法律(みどりの食料システム法)」が制定されました。旧来のエコファーマー制度に代わるもので、海部管内では1名が「みどり認定」を受け、2名が申請中です。環境に配慮した国が定めた技術の導入を検討されている方は農業改良普及課までご相談ください。

## 海部地域農業者セミナー開催しました

新規就農者や女性農業者を対象に、本年は3回セミナーを開催しました。第1回は「コーチングを中心としたコミュニケーション能力の養成」、第2回は「初めての農業簿記とパソコン記帳」、第3回は「安心安全な農業機械の管理と使い方～刈払機～」をテーマに行い、参加者はそれぞれ必要な知識や技術を受講していただきました。特に第2回はJA あいち海部農産部担い手課の「新規就農者セミナー」と共催することで、新規就農を目指す研修生の参加も得られ有意義なものとなりました。次年度も、引き続き農業者の役に立つ企画を予定しています。



「新規就農者セミナー」との共催による簿記の講義